

令和4年度第2回鹿児島県地域職業能力開発促進協議会の協議結果

令和5年3月7日(火)

地域職業訓練実施計画の策定		地域の人材ニーズを踏まえた訓練コース設定にあたって情報共有	ワーキンググループ（WG）の効果検証			その他の職業能力の職業能力開発及び向上の促進のための取組	
職業訓練の設定に当たって、①協議会での意見、②④について計画に反映した事項	令和5年度地域職業訓練実施計画で特に重点としている事項	各構成員からの報告等	訓練分野の選定にあたっての方針	WGでの効果検証にあたっての意見	訓練分野	取組内容	意見等
<p>①協議会での意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクリングについて、在職者の部分で新しい能力開発を行っていくことが必要である。（学識経験者） ・離職したら生活が不安定な状況で学ばなければならないので、在職者訓練に力を入れることは賛成である。（経済団体） <p>②計画に反映した事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・リスクリングの推進として、地域リスクリング推進事業を計画に反映した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練の積極的展開。 ・IT分野の定員枠の拡大。 ・中長期的な地域ニーズをも反映した訓練コースの策定に向けた情報収集の実施。 	<ul style="list-style-type: none"> ・PCのスキルについて、求人者側のニーズとして、専門システムやアプリの操作等、関数や差し込み印刷等といった、細かいことが求められる。（職業紹介事業者） ・人材育成にあたり、社内教育に加え、子供向けのプログラミング教室と提携したりしている。（職業紹介事業者） ・RESASのデータを営業戦略に活用するための学習の場があると有意義ではないだろうか。（経済団体） 	<ul style="list-style-type: none"> ・コース設定数が多く、またセーフティネット的な要素のコースが多い分野における訓練効果の検証から始めていくこととする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訓練後にPCスキルをどこまで引き上げるかという観点で検証を行うことも1つのポイントではないか。（学識経験者） ・上記観点で検証を行う場合、全くの未経験者を対象とするなど、適切に選定しないと訓練効果が判断できないことを考えられるので、注意が必要。（職業紹介事業者） ・PCスキルは使えると思っている人も、使えているのが一部分だけであるということもあったり、幅が広がる可能性もあることから、受講制限は望ましくない。（学識経験者） 	営業・販売・事務	<p>表層及び深層にある求職者ニーズについて目を向ける必要性和キャリアコンサルティングによるニーズの変容の可能性等について説明。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の場合、生活・安全等に対する部分は親が支えているので、現実のお金を稼いで生きていくという意識が薄く、自己実現の話ばかりをする事例もある。これによって職業が選択できないまま社会に出てしまうような事例もある。（学識経験者） ・離職したら生活が不安定な状況で学ばないといけないので、在職者訓練に力を入れるのは賛成である。安定したうえで学ぶことが大切である。（経済団体）